

2014年5月23日、パリ

**コファス予測:2014年スペインにおける中小企業倒産は13%減少、フランスでは横ばい**

スペインとフランスは企業活動という点で似たような特徴を備えており、企業倒産の状況はいずれも憂慮すべき動向を見せている。だが、2008～09年の危機以降の中小企業<sup>1</sup>の状況は両国のあいだで異なっており、2014年の中小企業倒産予測は、そうした乖離をさらに裏付けている。

**フランスの企業倒産に占める中小企業の比率は高く、スペインではさらにその傾向が強い**

スペイン同様、フランスにおいても中小企業倒産の状況は依然として憂慮すべきレベルにあり、その経済的な影響も大きい。中小企業は給与所得者の3分の1以上を雇用し、付加価値<sup>2</sup>に占める比率も、フランスでは32%、スペインでは37.4%と大きい。

スペインにおける中小企業倒産は、変動はあるものの(2014年3月末の時点で前年比<sup>3</sup>マイナス4%と微減、2013年には前年比プラス30%と急増していた)、2009年に見られた水準よりも高くなっている。中小企業の倒産件数2765件は、国内の企業倒産件数全体の31%を占める。フランスにおける中小企業倒産件数は前年比で増加しており(2014年3月末の時点でプラス4%)4682件である。企業全体の7.3%に当たる。しかしながらスペインの場合とは対照的に、倒産件数は過去最高だった2009年(5155件)に比べ徐々に減少している。

### 同一の危機から二つの軌跡

スペインのマクロ経済環境は特に厳しく、これが中小企業の苦境につながっているように思われる。同時に、危機の深刻さ(2013年の経済成長率はマイナス1.2%)はスペイン中小企業に根本的な変化をもたらした。債務残高が大きく(2013年第3四半期で対GDP比97.9%)、投資能力を犠牲にしても債務削減を強いられ、また信用逼迫にともないキャッシュフローにも大きなプレッシャーがかかったものの、中小企業の利益率は増大した。スペイン中小企業の利益率は2013年に45%に迫ったが、一方でフランスの中小企業は欧州で最も低い利益率(30%)を記録している。危機がもたらしたポジティブな成果はもう一つある。国内需要の不振を相殺するために、スペイン中小企業は国際市場に目を向けざるをえなくなったのである。こうして現在ではスペイン中小企業の25%が輸出企業であり(フランスの場合は19%)、これがリセッションを緩和することになった。

フランスでは危機の影響はスペインに比べ顕著ではなかったが、需要が回復しているにもかかわらず、供給には問題が生じている。高い水準の倒産件数が続いていることから分かるように、企業活動には危険な萎縮が見られる。中小企業では、輸出市場におけるシェア獲得につながるはずの価格競争力が回復しておらず、引き続き国内需要に頼っている。フランス中小企業は消費市場による相当な追い風を必要としているが、2014年第1四半期に見られた家計支出の縮小(2013年第4四半期に比べ

<sup>1</sup> 中小企業:従業員数が10名～249名で、年間売上高が5000万ユーロ以下、又は総資産が4300万ユーロ以下の企業を指す。

<sup>2</sup> 農業、金融、行政を除く企業部門による付加価値。出典: Eurostat

<sup>3</sup> 2013年2月～2014年3月と前年の同時期を比較。



## P R E S S R E L E A S E

マイナス0.5%)に見るように、そうした追い風は徐々に弱まりつつある。

### 輸出と家計消費が鍵となる今後の展望

こうしてみると、フランスとスペインにおける企業倒産の予測モデルについては、3つの要因が鍵になる。すなわち、建設部門(企業倒産のなかで多く見られる)の影響、消費市場及び製品輸出への中小企業の依存度(スペインの場合)、あるいはサービス市場への依存度(フランスの場合)である。

景気回復が確認されているスペインに関しては、コファスは次のように予測している。消費はやや回復(プラス 1.1%)、製品輸出の大幅な増加(プラス 5.5%)、建設部門の労働コストの停滞という想定のもとで、中小企業の倒産件数は少なくとも13%減少するだろう。

フランスに関しては、これほど大きな改善は見られず、中小企業倒産件数は横ばいとなるだろう(前年比でマイナス 0.5%)。その要因は、消費の微増(プラス 0.8%)、サービス輸出の活況(プラス 3%)、建設部門における労働コストの微増(プラス 0.5%)である。

### 連絡先:

ジョナタン・ペレス - Tel. 03 5402 6108 - [jonathan.perez@coface.com](mailto:jonathan.perez@coface.com)

### コファスとは

コファス・グループは国内及び輸出取引における債務不履行をカバーしながら、全世界の企業に売掛債権管理のソリューションを提供しています。2013年、同グループは14億4千ユーロの連結売上高を計上しました。66カ国にて4,440名のスタッフが世界各国で現地サービスを提供しています。コファスは四半期毎に、企業の決済動向に関する独自の知見と350名のアンダーライターたちの専門知識に基づいた、160カ国についてのカントリー・リスク評価を発表しています。

フランスでは、コファスは国に代わって輸出保証を行なっています。

コファスはBPCEグループ(Banque Populaire Caisse d'Epargneグループ)の投資銀行及び企業向け金融サービスに特化した銀行であるNatixisの子会社です。

[www.coface.jp](http://www.coface.jp)